



マーケット・レポート

# Weekly Guide 2025.12.15

りそなアセットマネジメントの  
YouTubeチャンネルで、  
音声付きの解説動画を  
ご覧いただけます！



## 主要マーケット指標



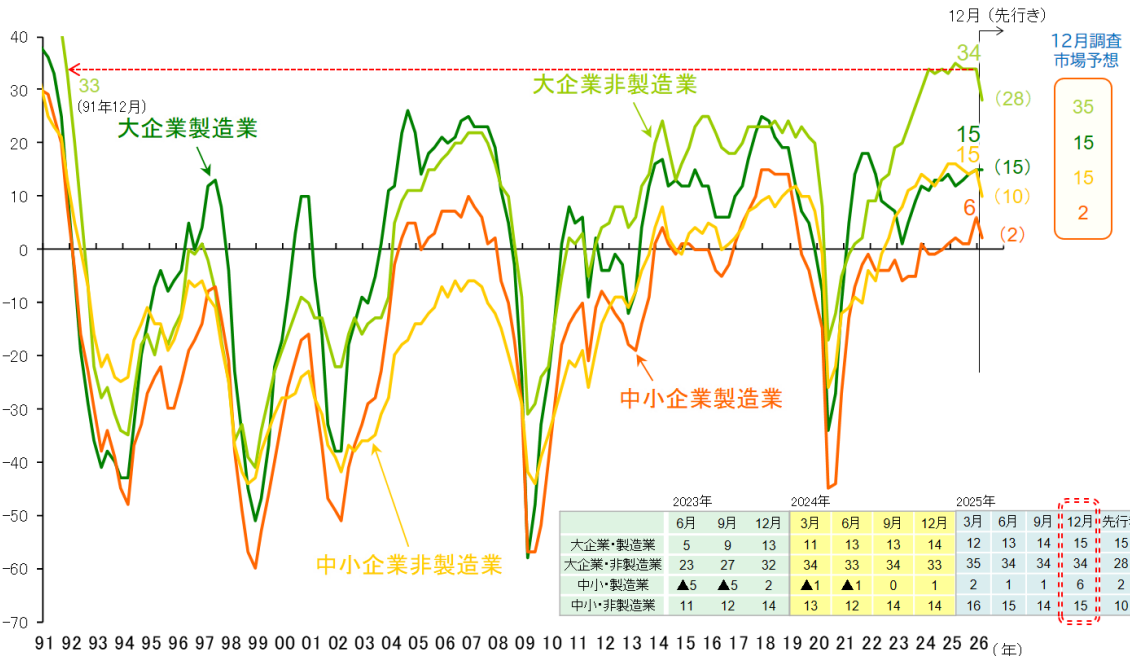
【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、FOMC（米連邦公開市場委員会）で0.25%の利下げが決定されました。26年以降についても利下げ継続の方針が示されたことから株式市場では買い安心感が広がり、NYダウ、S&P500指数、TOPIXなど日米の主要株価指数が最高値を更新しました。ただ、今後の利下げペースは鈍化するとの見方から、これまで大きく上昇してきたAI関連株には利益確定売りが膨らみました。週間騰落率は、NYダウが+1.0%、ナスダック総合指数は▲1.6%、独DAX指数+0.7%、日経平均株価+0.7%でした。10年国債利回りは米国が前週末比+5bpの4.19%、ドイツは同+6bpの2.86%、日本は横ばいの1.95%で終わりました。ドル円は156円を挟んでもみ合いとなりました。今週は、米金融政策の見通しに大きな影響を与える11月雇用統計とCPIが注目されます。国内では、日銀金融政策決定会合が行われ、0.25%の追加利上げの決定が確実視されています。

## 当面の注目イベント

- ◆日・日銀短観12月調査 (15日)
- ◆米・11月雇用統計 (16日)
- ◆欧・ECB理事会 (18日)
- ◆米・11月コアCPI (18日)
- ◆日・日銀金融政策決定会合 (18・19日)
- ◆日・11月コアCPI (19日)

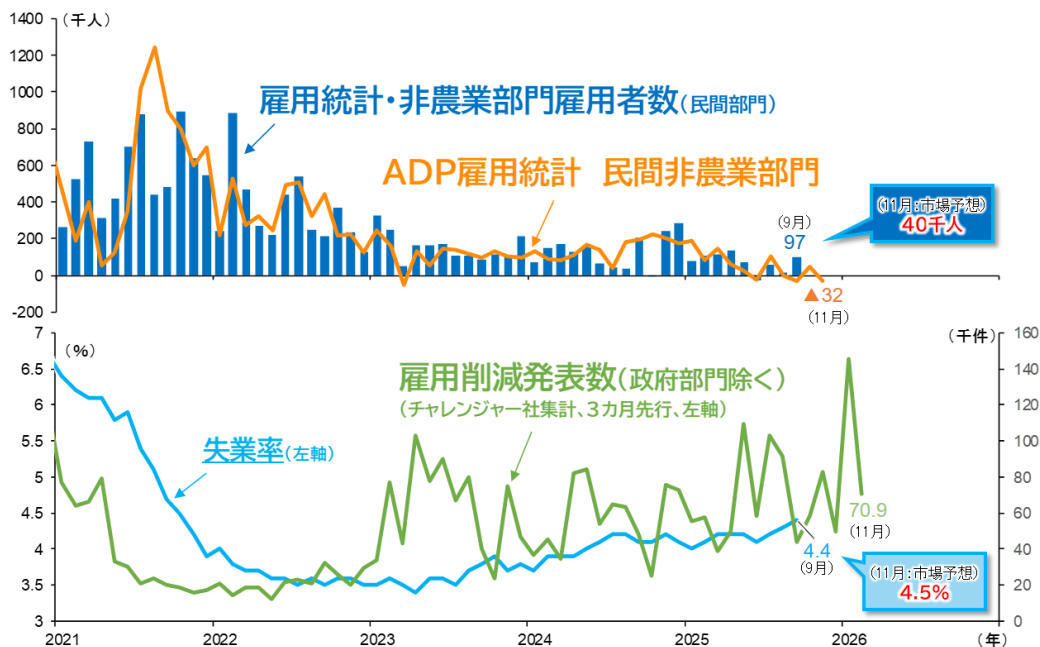
15日発表の日銀短観12月調査で、大企業製造業の業況判断DIは15となり3四半期連続で改善しました。日本経済に対するトランプ関税の影響が限定的であることを示し、日銀の利上げ判断を後押しすると考えられます



【出所】ブルームバーグ、Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

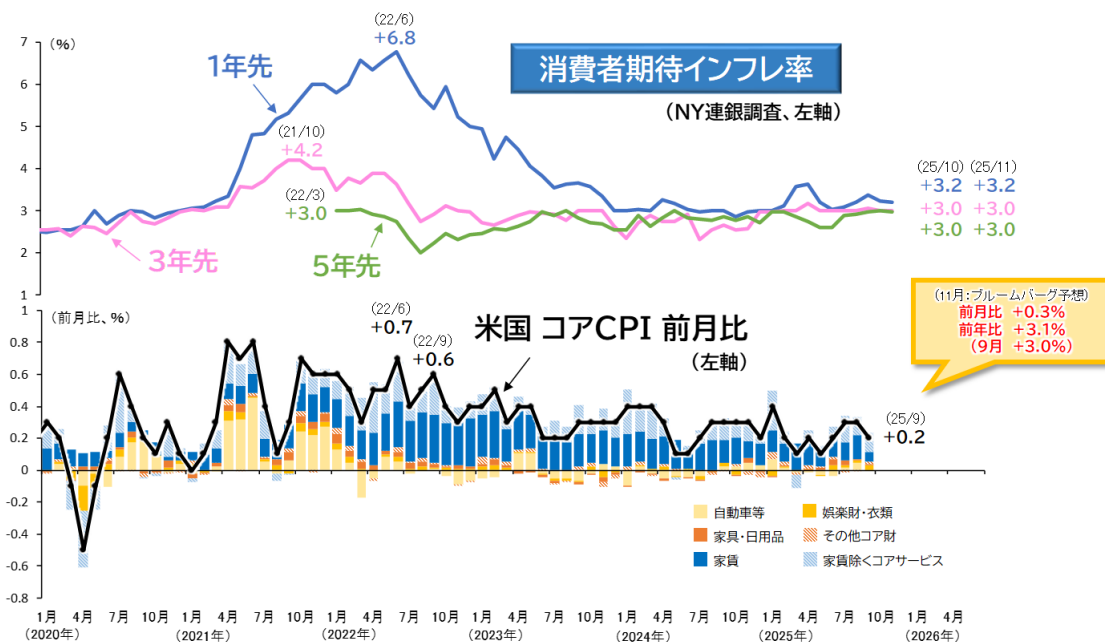
※最終ページの<当資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。

11月雇用統計では、非農業部門雇用者数(民間部門)は+4万人、失業率は4.5%が予想されています。ADP雇用統計、雇用削減発表数など民間指標が相次いで雇用市場の軟化を示す中、軟調な内容となる可能性に留意が必要です



【出所】ブルームバーグ、Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

米国11月CPI(18日発表)の事前予想は、前月比+0.3%、前年比+3.1%です。関税引き上げの影響で財価格が高めの伸びとなる一方、人件費に敏感なサービス価格の上昇が限定的で全体の伸びが抑えられる見通しです



【出所】ブルームバーグ、Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

今回は 2025年12月22日 発行予定です

### 〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡す「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。